

2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荒川 隆治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 佐々木 卓 (TEL) 03-5219-5102

定時株主総会開催予定日 2024年6月26日 配当支払開始予定日 2024年6月4日

有価証券報告書提出予定日 2024年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	2,858,500	6.0	38,460	27.6	39,997	21.8	29,558	14.6
2023年3月期	2,696,069	4.3	30,148	3.6	32,831	0.8	25,786	△19.9

(注) 包括利益 2024年3月期 38,979百万円(41.0%) 2023年3月期 27,641百万円(226.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	154.13	—	6.1	2.9	1.3
2023年3月期	127.42	—	5.4	2.5	1.1

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 一百万円 2023年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	1,447,625	479,859	33.1	2,566.50
2023年3月期	1,339,852	488,335	36.4	2,411.89

(参考) 自己資本 2024年3月期 479,599百万円 2023年3月期 488,090百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	86,379	△14,217	△19,698	212,315
2023年3月期	13,086	△20,539	△12,918	158,776

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	28.00	—	29.00	57.00	11,543	44.7	2.4
2024年3月期	—	34.00	—	36.00	70.00	13,115	45.4	2.8
2025年3月期(予想)	—	31.00	—	32.00	63.00		45.3	

(注) 2024年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が5円含まれております。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,483,000	3.9	15,200	△5.0	16,600	△3.9	10,900	△8.0	58.33
通期	2,965,000	3.7	37,300	△3.0	40,000	0.0	26,000	△12.0	139.13

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期	202,840,000株	2023年3月期	202,840,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	15,971,131株	2023年3月期	471,650株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	191,777,990株	2023年3月期	202,368,921株

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数の算定上控除する自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を含めております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,252	△22.2	14,772	△26.6	14,215	△30.1	13,294	△34.8
2023年3月期	22,167	28.9	20,120	32.0	20,338	32.4	20,397	50.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期	69.32	—
2023年3月期	100.79	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	266,910	223,406	83.7	1,195.52
2023年3月期	271,933	256,806	94.4	1,269.01

(参考) 自己資本 2024年3月期 223,406百万円 2023年3月期 256,806百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	5
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	17
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年4月1日～2024年3月31日)におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された後、緩やかな回復が続いているものの世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが景気を下押しするリスクとなっております。

当社グループでは、2022年5月に公表した「22-24 中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム[®]～(以下「22-24中計」という。)」に掲げた以下のグループ経営方針に取り組んでおります。

- ・『事業モデルの強化』と『新たな価値の創造』
- ・『グループ一体となった取り組み』による地域の健康・医療への貢献
- ・『環境保全への取り組み等』を通じたサステナブル社会への貢献
- ・『ダイバーシティ』を中心とした人財戦略の推進
- ・『コンプライアンス』を最重要とする企業風土の醸成

また、2023年5月、当社はグループのさらなる企業価値向上を実現すべく、2032年度までの中長期的な事業戦略および財務・資本戦略「アルフレッサグループ中長期ビジョン」を公表するとともに、資本効率の改善と株主還元の充実に図るため350億円を上限とする自己株式取得を決議し、同年10月2日をもって、15,201千株を取得し終了いたしました。

当社の「新たな価値の創造」への取り組みとして、2023年5月、抗体医薬を主体とした研究開発を行う株式会社凍研究所(本社：東京都中央区)に対し第三者割当増資による出資をいたしました。同社が進める抗体医薬の開発を支援していくとともに、トータルサプライチェーンサービスの実現に向けて医薬品等製造事業における開発パイプラインと製造技術を強化してまいります。

また、組織再編により当社の完全子会社となったセルリソース株式会社(本社：東京都千代田区)は、2023年7月、Miltenyi Biotec B.V. & Co. KG(本社：ドイツ連邦共和国)との間で、遺伝子細胞治療市場における自動細胞製造施設・工程の設計、建設、稼働のサポートを目的とするバイオインダストリー・サポート契約を締結いたしました。当社グループでは、本契約を契機として遺伝子細胞治療市場に対して高度に自動化された受託細胞製造サービスを提供する事業基盤の整備を進め、再生医療等製品の受託製造サービスを提供する体制の構築を進めております。

さらに、2023年11月、当社の子会社である株式会社ゲッカワークス(本社：東京都千代田区)は、かねてより実証実験を進めていた医師向け会員制Webサービス「ドクシル」の本格運用を開始いたしました。同社は、当社グループの医療用医薬品等卸売事業のMS[※]とともに、地域医療連携を支援し、医療提供体制の充実や医師の働き方改革へ貢献してまいります。

資金調達としては、2023年12月、当社は、社会価値の創造に資するため、茨城県つくば市における新たな物流センターおよび群馬県太田市における医薬品製造棟の建設・運営のため、総額200億円のソーシャルボンドを発行いたしました。

当連結会計年度における当社グループの業績は、売上高2兆8,585億円(前期比6.0%増)、営業利益384億60百万円(同27.6%増)、経常利益399億97百万円(同21.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益295億58百万円(同14.6%増)となりました。

※ MS(Marketing Specialist)：マーケティング・スペシャリスト。医薬品の卸業における専門知識を持った営業員

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

当連結会計年度においては、2023年5月から新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類感染症」に移行され経済社会活動が正常化するなか、当社グループでは、生命関連商品を取り扱う社会インフラとしての使命を果たすべく、医薬品等の安定供給はもとより、新型コロナウイルスワクチンおよび治療薬の配送業務ならびに欠品や需給調整が続くジェネリック医薬品等への対応に尽力してまいりました。

医療用医薬品等卸売事業におきましては、スペシャリティ領域ならびにメディカル品への取り組み強化とDXによる事業変革を通じて、「22-24中計」の重点施策として掲げた「既存事業の強化」「事業変革による収益化」「グループ全体での最適化・効率化・標準化」を推進しております。

当社グループでは、新たな医療サービスの開発に挑戦する様々なベンチャー企業との提携により、医療分野における課題解決への取り組みを進めております。

連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区、以下「アルフレッサ」という。)は、株式会社MICIN(本社：東京都千代田区)との間で資本業務提携契約を締結し、オンライン診療サービス「curon(クロン)」や通院専用のキャッシュレス決済サービス「クロンスmartパス」等の普及拡大を推進するとともに、両社の経営資源を活用し、生活者の健康向上や医療アクセスの充実につなげるなど、医療・ヘルスケアサービスの開発および展開を図っております。

また、アルフレッサは、2023年5月、キッズウェル・バイオ株式会社(本社：東京都中央区)および三菱倉庫株式会社(本社：東京都中央区)との間で、キッズウェル・バイオ株式会社から再生医療等製品として開発中のヒト乳歯歯髄幹細胞の高品質かつ安定的な保管・輸送体制の構築に関する業務委託基本契約を3社間で締結し、再生医療分野においても医薬品の安定供給を担うべく、ヒト乳歯歯髄幹細胞を原料とする再生医療等製品の実用化に向けた協業を進めております。

「グループ全体での最適化・効率化・標準化」へ向けた「PIC/S GDPに対応した最適なロジスティクスネットワークの構築」の取り組みとして、2023年8月、アルフレッサは、茨城県つくば市において建設を進めておりました「つくば物流センター」を竣工し、2024年5月7日より稼働いたしました。本センターは、高度な物流機能を有し災害に強い当社グループ最大の物流拠点として、関東エリアにおける医薬品等を安定供給する体制をさらに充実させ地域医療に貢献してまいります。

また、2023年12月、連結子会社のティーエスアルフレッサ株式会社(本社：広島市西区)は、山口県宇部市において建設を進めておりました「山口宇部センター」を竣工し、2024年5月7日より稼働いたしました。本センターと広島県尾道市において稼働中の尾道物流センターを中国地方における物流の中核拠点として活用することで、今後も地域医療に貢献してまいります。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、2023年4月に実施された薬価の中間年改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬やインフルエンザ関連商品をはじめとする市場の伸長および一部製薬企業の流通体制変更ならびに売上総利益率の改善に取り組んだこと等により、売上高2兆5,399億32百万円(前期比6.0%増)、営業利益330億91百万円(同22.7%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高180億26百万円(同7.1%増)を含んでおります。

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、連結子会社のアルフレッサヘルスケア株式会社(本社：東京都中央区)が既存領域の高収益化と成長領域への挑戦を推進し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「高収益化への取り組み」「グループ連携強化」「事業変革による収益力強化」に取り組んでおります。なかでも、物価高騰による仕入原価上昇への対応、調剤薬局販路開拓をはじめとするニューチャネル創造に取り組んでまいりました。

2024年2月、同社は、東京都立産業貿易センター浜松町館(東京都港区)において、展示会「2024ライフサポートフェア」を開催いたしました。「New Gate～新しい時代の新しいドラッグストアを創造～」をテーマに、変化する社会環境を見据え、変わってはいけないものを大事にしつつ、変化を予測した売り場づくりの提案をいたしました。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、新型コロナウイルス感染症の「5類」移行後の人流回復に加えて、訪日外国人増加によるインバウンド需要増に伴う市場回復の影響から増収となったこと等により、売上高2,628億43百万円(前期比6.6%増)、営業利益26億83百万円(同27.1%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高4億98百万円(同5.5%減)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、「次代の基盤創り」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくり」「トータルサプライチェーンサービスの実現に向けた取り組み」「デジタルを活用した新たな取り組み」を推進しております。

2023年4月、連結子会社のアルフレッサファーマ株式会社(本社：大阪府中央区)は、連結子会社であったサンノバ株式会社(本社：群馬県太田市)を合併いたしました。本合併により新たな価値の創造を通じて顧客満足を追求し、当社グループが掲げる「健康に関するあらゆる分野の商品・サービスを提供できるヘルスケアコンソーシアム[®]」の実現に貢献いたします。

また、同社は、2023年3月に株式会社ケイファーマ(本社：東京都港区)との間で締結した、筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療薬としてのロピニロール塩酸塩の国内開発権・製造販売権許諾契約に基づく開発に引き続き取り組んでおります。

さらに、アルフレッサ ファーマ株式会社は、2024年1月、同社群馬工場における新たな医薬品製造棟の建設について詳細設計を完了いたしました。同製造棟の建設により、低分子医薬品の製造能力の増強や、新たに高薬理活性製剤の受託製造および無菌製剤の検査・包装・試験受託への本格参入を図るとともに、当社グループのトータルサプライチェーンサービスにおける開発から製造までの機能の強化と拡大へとつなげてまいります。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、ALS治療薬開発に係る契約一時金支出等の経費増の一方で、受託製造および原薬製造の売上伸長および新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)抗原迅速検査キット「アルソニック® COVID-19 Ag」をはじめとする診断薬の底堅い需要による増収の影響により、売上高527億40百万円(前期比7.5%増)、営業利益18億94百万円(同349.9%増)となりました。

なお、売上高には、セグメント間の内部売上高151億46百万円(同9.3%増)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、調剤薬局事業を運営する連結子会社のアポクリート株式会社(本社：東京都豊島区)が、予防からターミナルケアまでライフジャーニーにおけるすべてのステージに対応する「かかりつけ薬局」を目指し、「22-24中計」の重点施策として掲げた「在宅医療への取り組みによる事業の成長」「DXによる事業変革」「未病予防への取り組み」を推進しております。

「在宅医療への取り組みによる事業の成長」への取り組みとして、2023年9月、同社は埼玉県内で調剤薬局「カイエー薬局グループ」などを運営する有限会社会営(本社：埼玉県ふじみの市)の全株式を取得し、完全子会社化いたしました。地域における在宅ドミナント化の実現に向けて引き続き取り組みを進めてまいります。

当セグメントの当連結会計年度の業績は、薬価改定によるマイナス影響はあったものの、新型コロナウイルス感染症治療薬等の影響による増収および販管費抑制等により、売上高366億54百万円(前期比1.2%増)、営業利益7億13百万円(同115.6%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における当社グループの総資産は、前期末比1,077億72百万円増加し、1兆4,476億25百万円となりました。

流動資産は、867億5百万円増加し、1兆1,212億33百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」が536億34百万円、売上債権が224億59百万円、「未収入金」が50億56百万円および「商品及び製品」が18億9百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、210億67百万円増加し、3,263億92百万円となりました。これは主として、物流センター等の設備投資などに伴い有形固定資産が47億79百万円増加および保有株式の株価上昇等に伴い「投資有価証券」が140億71百万円増加したことによるものであります。

セグメント別の総資産は、以下のとおりであります。

医療用医薬品等卸売事業のセグメント資産は、前期末比1,010億57百万円増加し、1兆2,400億91百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」等の流動資産が増加、物流センター等の設備投資に伴い有形固定資産が増加および保有株式の株価上昇等に伴い「投資有価証券」が増加したことによるものであります。

セルフメディケーション卸売事業のセグメント資産は、42億49百万円増加し、939億67百万円となりました。これは主として、売上債権等の流動資産が増加および保有株式の株価上昇等に伴い「投資有価証券」が増加したことによるものであります。

医薬品等製造事業のセグメント資産は、27億14百万円減少し、673億68百万円となりました。これは主として、「商品及び製品」等の流動資産が増加した一方で、製造販売権等の無形固定資産が減少したことによるものであります。

医療関連事業のセグメント資産は、4億70百万円増加し、168億3百万円となりました。これは主として、「現金及び預金」等の流動資産が減少した一方で、株式の取得に伴い「投資有価証券」が増加したことによるものであります。

当連結会計年度末における当社グループの負債は、前期末比1,162億49百万円増加し、9,677億66百万円となりました。

流動負債は、812億57百万円増加し、9,069億89百万円となりました。これは主として、「支払手形及び買掛金」が749億85百万円増加および「未払法人税等」が19億15百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、349億92百万円増加し、607億76百万円となりました。これは主として、「社債」が200億円増加および「長期借入金」が100億円増加したことによるものであります。

結果として、当連結会計年度末における当社グループの純資産は、84億76百万円減少し、4,798億59百万円となりました。これは主として、「利益剰余金」が178億57百万円増加および保有株式の株価上昇に伴い「その他有価証券評価差額金」が73億2百万円増加した一方で、「自己株式」が357億26百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における当社グループの現金及び現金同等物は、前期末比535億39百万円増加し、2,123億15百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、「税金等調整前当期純利益」が437億95百万円と前期と比べ52億3百万円の増益となったことに加えて、仕入高の増加および当連結会計年度の末日が休日であったこと等により「仕入債務の増加額」が増加したこと等により、863億79百万円の増加(前期は130億86百万円の増加)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、物流センターの建設等の設備投資に伴う支出が減少したことに加えて、保有株式の縮減を目的とした投資有価証券の売却による収入が減少したこと等により、142億17百万円の減少(前期は205億39百万円の減少)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、株主還元の一環として自己株式を取得したことに伴い「自己株式の取得による支出」が増加したことに加えて、増配に伴い「配当金の支払額」が増加した一方で、「社債の発行による収入」および「長期借入れによる収入」があったこと等により、196億98百万円の減少(前期は129億18百万円の減少)となりました。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2025年3月期を最終年度とする「22-24中期経営計画 未来への躍進 ～進化するヘルスケアコンソーシアム®～(以下「22-24中計」という。)」を策定しております。

次期については、中期経営計画の最終年度として、引き続きグループ経営方針に則り取り組んでまいります。あわせて、セグメント別に掲げた「22-24中計」の重点施策により一層取り組んでまいります。

2025年3月期の連結業績見通しにつきましては、徹底した流通改善や「22-24中計」の取り組みの推進に加えて、さらなるグループガバナンスの強化により、売上高2兆9,650億円(当期比3.7%増)、営業利益373億円(同3.0%減)、経常利益400億円(同0.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益260億円(同12.0%減)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、主として日本国内において医療用医薬品、検査試薬、医療機器・材料・用具、一般用医薬品の卸販売に係る事業の運営、これらの製造販売に係る事業の運営および調剤薬局事業の運営を行っております。現時点では海外での事業展開は限定的であるため、会計基準については日本基準を採用しております。今後、財務情報の国際的な比較可能性を求める資本市場の要請や、外国人株主比率の推移、さらには他社財務情報との比較容易性等を総合的に勘案して、国際財務報告基準(IFRS)の適用の可否を判断することにしております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	160,122	213,756
受取手形	11,581	13,790
売掛金	612,072	632,323
商品及び製品	145,349	147,159
仕掛品	1,469	1,843
原材料及び貯蔵品	5,972	7,375
未収入金	82,118	87,175
その他	16,261	18,145
貸倒引当金	△419	△335
流動資産合計	1,034,527	1,121,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	125,754	144,816
減価償却累計額	△62,052	△65,735
建物及び構築物（純額）	63,702	79,081
機械装置及び運搬具	39,633	41,084
減価償却累計額	△24,696	△27,244
機械装置及び運搬具（純額）	14,936	13,840
工具、器具及び備品	15,073	16,240
減価償却累計額	△11,160	△12,006
工具、器具及び備品（純額）	3,912	4,234
土地	72,127	72,239
リース資産	7,041	7,603
減価償却累計額	△4,269	△3,696
リース資産（純額）	2,772	3,907
建設仮勘定	19,370	8,298
有形固定資産合計	176,821	181,601
無形固定資産		
のれん	2,545	2,065
リース資産	42	13
その他	15,271	14,494
無形固定資産合計	17,860	16,572
投資その他の資産		
投資有価証券	91,555	105,627
長期貸付金	1,834	2,034
繰延税金資産	901	1,460
退職給付に係る資産	6,532	9,467
その他	14,853	13,026
貸倒引当金	△5,033	△3,398
投資その他の資産合計	110,643	128,218
固定資産合計	305,325	326,392
資産合計	1,339,852	1,447,625

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	780,343	855,328
リース債務	1,394	1,565
未払法人税等	6,046	7,961
賞与引当金	7,210	8,028
役員賞与引当金	384	439
独占禁止法関連損失引当金	4,937	4,937
その他	25,416	28,727
流動負債合計	825,732	906,989
固定負債		
社債	-	20,000
長期借入金	-	10,000
リース債務	2,461	3,372
繰延税金負債	12,054	16,542
再評価に係る繰延税金負債	429	416
株式給付引当金	73	176
役員株式給付引当金	90	238
退職給付に係る負債	8,363	7,740
資産除去債務	1,054	1,007
その他	1,257	1,281
固定負債合計	25,784	60,776
負債合計	851,517	967,766
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	57,720	57,720
利益剰余金	366,649	384,507
自己株式	△686	△36,412
株主資本合計	442,137	424,269
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,135	54,438
繰延ヘッジ損益	△0	1
土地再評価差額金	△3,346	△3,375
為替換算調整勘定	269	330
退職給付に係る調整累計額	1,895	3,936
その他の包括利益累計額合計	45,953	55,330
非支配株主持分	244	259
純資産合計	488,335	479,859
負債純資産合計	1,339,852	1,447,625

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	2,696,069	2,858,500
売上原価	2,503,983	2,652,128
売上総利益	192,085	206,371
販売費及び一般管理費	161,937	167,910
営業利益	30,148	38,460
営業外収益		
受取利息	56	59
受取配当金	1,628	1,570
不動産賃貸料	597	541
その他	840	859
営業外収益合計	3,122	3,030
営業外費用		
支払利息	64	132
支払手数料	-	624
不動産賃貸費用	175	189
その他	200	547
営業外費用合計	440	1,494
経常利益	32,831	39,997
特別利益		
固定資産売却益	107	199
投資有価証券売却益	9,303	5,663
特別利益合計	9,411	5,863
特別損失		
固定資産売却損	17	101
固定資産除却損	131	179
減損損失	825	408
投資有価証券評価損	1,159	1,377
関係会社清算損	387	-
独占禁止法関連損失引当金繰入額	993	-
その他	134	-
特別損失合計	3,650	2,065
税金等調整前当期純利益	38,591	43,795
法人税、住民税及び事業税	13,205	14,009
法人税等調整額	△402	211
法人税等合計	12,802	14,221
当期純利益	25,789	29,574
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	25,786	29,558
非支配株主に帰属する当期純利益	2	15

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,374	7,302
繰延ヘッジ損益	△0	1
為替換算調整勘定	68	60
退職給付に係る調整額	△591	2,040
その他の包括利益合計	1,852	9,405
包括利益	27,641	38,979
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	27,638	38,963
非支配株主に係る包括利益	2	15

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	18,454	101,660	352,015	△44,625	427,504	44,760	0
当期変動額							
剰余金の配当			△11,138		△11,138		
親会社株主に帰属する 当期純利益			25,786		25,786		
自己株式の取得				△2	△2		
自己株式の処分		0		0	0		
自己株式の消却		△43,940		43,940	-		
土地再評価差額金の取崩			△13		△13		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						2,374	△0
当期変動額合計	-	△43,940	14,634	43,938	14,632	2,374	△0
当期末残高	18,454	57,720	366,649	△686	442,137	47,135	△0

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△3,360	200	2,487	44,088	241	471,835
当期変動額						
剰余金の配当						△11,138
親会社株主に帰属する 当期純利益						25,786
自己株式の取得						△2
自己株式の処分						0
自己株式の消却						-
土地再評価差額金の取崩						△13
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	13	68	△591	1,865	2	1,867
当期変動額合計	13	68	△591	1,865	2	16,500
当期末残高	△3,346	269	1,895	45,953	244	488,335

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益
当期首残高	18,454	57,720	366,649	△686	442,137	47,135	△0
当期変動額							
剰余金の配当			△12,245		△12,245		
親会社株主に帰属する 当期純利益			29,558		29,558		
自己株式の取得				△35,740	△35,740		
自己株式の処分				14	14		
連結範囲の変動			515		515		
土地再評価差額金の取崩			28		28		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						7,302	1
当期変動額合計	-	-	17,857	△35,726	△17,868	7,302	1
当期末残高	18,454	57,720	384,507	△36,412	424,269	54,438	1

	その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	△3,346	269	1,895	45,953	244	488,335
当期変動額						
剰余金の配当						△12,245
親会社株主に帰属する 当期純利益						29,558
自己株式の取得						△35,740
自己株式の処分						14
連結範囲の変動						515
土地再評価差額金の取崩						28
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△28	60	2,040	9,376	15	9,391
当期変動額合計	△28	60	2,040	9,376	15	△8,476
当期末残高	△3,375	330	3,936	55,330	259	479,859

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	38,591	43,795
減価償却費	12,804	13,016
減損損失	825	408
のれん償却額	498	498
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△574	△1,720
賞与引当金の増減額 (△は減少)	374	398
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△23	47
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△1,166	△1,140
受取利息及び受取配当金	△1,684	△1,629
支払利息	64	132
固定資産売却損益 (△は益)	△90	△98
固定資産除却損	131	179
投資有価証券売却損益 (△は益)	△9,169	△5,663
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,159	1,377
売上債権の増減額 (△は増加)	△22,334	△19,164
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△5,900	△3,584
未収入金の増減額 (△は増加)	△4,065	△6,029
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,093	74,985
その他	△4,992	1,397
小計	29,543	97,203
利息及び配当金の受取額	1,686	1,627
利息の支払額	△64	△132
法人税等の支払額	△18,078	△12,319
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,086	86,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△945	△1,045
定期預金の払戻による収入	941	962
有形固定資産の取得による支出	△22,716	△12,737
有形固定資産の売却による収入	186	941
無形固定資産の取得による支出	△2,749	△2,591
長期前払費用の取得による支出	△58	△391
投資有価証券の取得による支出	△4,810	△5,674
投資有価証券の売却による収入	10,502	6,903
貸付けによる支出	△1,145	△934
貸付金の回収による収入	341	565
その他	△84	△215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△20,539	△14,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	10,000
長期借入金の返済による支出	△48	-
社債の発行による収入	-	20,000
リース債務の返済による支出	△1,729	△1,727
自己株式の取得による支出	△2	△35,740
自己株式の売却による収入	0	14
配当金の支払額	△11,138	△12,245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△12,918	△19,698
現金及び現金同等物に係る換算差額	39	39
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△20,332	52,502
現金及び現金同等物の期首残高	179,108	158,776
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	1,036
現金及び現金同等物の期末残高	158,776	212,315

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、「医療用医薬品等卸売事業」「セルフメディケーション卸売事業」「医薬品等製造事業」「医療関連事業」の4つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「医療用医薬品等卸売事業」は、医療用医薬品、医療用検査試薬、医療機器・材料等の卸販売をしております。

「セルフメディケーション卸売事業」は、一般用医薬品等の卸販売をしております。「医薬品等製造事業」は、医薬品、医療用検査試薬、医薬品原薬、医療機器・用具等の製造販売をしております。「医療関連事業」は、主に調剤薬局の経営をしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益ベースの数値であります。

「セグメント間の内部売上高又は振替高」は市場実勢価格に基づいております。

「減価償却費」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」には、長期前払費用と同費用に係る償却費が含まれております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

(1) 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	医療用医薬品等卸売事業	セルフメディケーション卸売事業	医薬品等製造事業	医療関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,378,531	246,152	35,183	36,202	2,696,069	—	2,696,069
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,827	527	13,858	0	31,213	△31,213	—
計	2,395,358	246,679	49,041	36,202	2,727,282	△31,213	2,696,069
セグメント利益又は損失(△)	26,970	2,110	420	330	29,833	315	30,148
セグメント資産	1,139,033	89,717	70,082	16,332	1,315,167	24,685	1,339,852
その他の項目							
減価償却費	6,160	326	3,606	396	10,491	2,313	12,804
のれんの償却額	—	—	235	262	498	—	498
特別損失							
減損損失	811	—	—	14	825	—	825
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	8,533	251	1,955	912	11,652	2,022	13,675

(2) 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	連結財務諸表計上額
	医療用医薬品等卸売事業	セルフメディケーション卸売事業	医薬品等製造事業	医療関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,521,906	262,344	37,594	36,654	2,858,500	—	2,858,500
セグメント間の内部売上高又は振替高	18,026	498	15,146	—	33,670	△33,670	—
計	2,539,932	262,843	52,740	36,654	2,892,170	△33,670	2,858,500
セグメント利益又は損失(△)	33,091	2,683	1,894	713	38,382	78	38,460
セグメント資産	1,240,091	93,967	67,368	16,803	1,418,231	29,394	1,447,625
その他の項目							
減価償却費	6,197	364	3,615	350	10,526	2,489	13,016
のれんの償却額	—	—	235	263	498	—	498
特別損失							
減損損失	311	0	—	96	408	—	408
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	22,531	254	2,579	559	25,924	3,860	29,784

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	181	168
全社費用	134	△89
合計	315	78

(単位：百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	△11,349	△11,703
全社資産	36,035	41,098
合計	24,685	29,394

(単位：百万円)

減価償却費	前連結会計年度	当連結会計年度
全社費用	2,313	2,489
合計	2,313	2,489

(単位：百万円)

有形固定資産及び無形固定資産の増加額	前連結会計年度	当連結会計年度
全社資産	2,022	3,860
合計	2,022	3,860

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	2,411円89銭	2,566円50銭
1株当たり当期純利益	127円42銭	154円13銭

(注1) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注2) 役員報酬BIP信託口が保有する当社株式を、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式数から控除する自己株式に含めております。また、1株当たり当期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

1株当たり純資産の算定上控除した当該自己株式は前連結会計年度153千株、当連結会計年度15,971千株であり、1株当たり当期純利益の算定上控除した当該自己株式の期中平均株式数は前連結会計年度153千株、当連結会計年度11,062千株であります。

(注3) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	488,335	479,859
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	244	259
(うち非支配株主持分(百万円))	(244)	(259)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	488,090	479,599
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	202,368	186,868

(注4) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	25,786	29,558
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	25,786	29,558
期中平均株式数(千株)	202,368	191,777

(重要な後発事象)

該当事項はありません。